

仁厚会だより

2016年
1月号

社会医療法人 仁厚会 広報誌

平成28年1月1日発行

平成27年度 法人理念

「主役はいつも患者さん」

社会医療法人 仁厚会
発行：理事長 藤井啓子
〒682-0023 鳥取県倉吉市山根43番地
TEL(0858)26-1012
<https://www.med-wel.jp/>



もちつきをして新年を迎える～ル・サンテリオン北条～

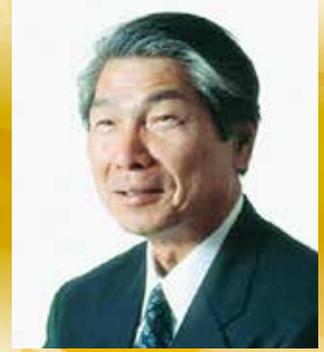
CONTENTS

- P.2** 藤井省三会長 旭日中綬章 受章
理事長 藤井啓子よりごあいさつ
- P.3** 新年のごあいさつ
医療福祉センター倉吉病院 院長 田中 潔
藤井政雄記念病院 院長 池田正仁
- P.4** 新年のごあいさつ
米子東病院 院長 頼田孝男
福島県の特別養護老人ホームへ職員派遣
[倉吉病院・米子東病院]
- P.5** グループホーム増床 [ガーデンハウスはまむら]
研究発表会の開催
仁厚会・敬仁会合同研究発表会
日本精神科看護協会看護研究発表会 [倉吉病院]
院内研究発表会 [藤井政雄記念病院]
- P.6** シリーズ JIN'S キッチン
シリーズ 私の職場
- P.7** あずさパン工場の活動
地域ボランティア交流会 [倉吉病院]
緩和ケアチーム交流会 [藤井政雄記念病院]
介護教室へ講師派遣 [ガーデンハウスよどえ]
サークル活動報告
- P.8** 健康レシピ
フォトレポート



旭日中綬章 受章

藤井 省三 会長



【主な経歴】

- | | | | |
|-------|------------------|-------|-------------------------|
| 昭和34年 | 鳥取県立倉吉東高等学校卒業 | 平成9年 | 第74代鳥取県議会議員 |
| 昭和40年 | 鳥取大学医学部卒業 | 平成16年 | 藍綬褒章受章 |
| 昭和49年 | 医学博士号取得 | 平成20年 | 日本中国友好協会本部理事 |
| 昭和50年 | 医療法人仁厚会 倉吉病院院長 | 平成24年 | 関西広域連合議会議員(理事) |
| 昭和57年 | 鳥取県議会議員に当選(9期就任) | 平成24年 | 全国都道府県議会議長会自治功労者表彰(30年) |
| 平成5年 | 社会福祉法人敬仁会 理事長 | 平成27年 | 旭日中綬章受章 |
| 平成6年 | 社会医療法人仁厚会 理事長 | | |



新たな仁厚会役員でスタートします



ごあいさつ

理事長 藤井 啓子

仁厚会は、昨年創設60周年を迎えました。隣接する社会福祉法人敬仁会では追って3年後に60周年となります。両法人合わせての職員数は2,000名を超えました。大きな規模となった組織を担っていく私の責任は大ではありますが、人の持つ力、発する力、それらの総和の組織の力を信じて歩みたい。医療、福祉と縦割りの感の強い両法人の合一できる面など改めて整理し、調和の取れたより良い流れのある組織へと作り変えてみたい。適切な役割分担をする中で責任意識、危機意識などを共有し、そして果たした成果の喜びや満足を皆で分かち合いたいという思いであります。



うつ病の予防

仁厚会副理事長
医療福祉センター 倉吉病院
院長 田中 潔

新年明けましておめでとうございます。今年もよろしくお願ひします。昨年の新年のあいさつでうつ病について書きましたが、今年もううつ病について書きます。

うつ病にはさまざまな危険因子があり、そのうち病前性格では、真面目、几帳面などの人はうつ病にかかりやすく、またうつ病者の思考には認知の偏りがあるといわれています。例えば、常に物事を白黒させないと気が済まないとか、悪い出来事をすべて自分のせいにする「こうなったのは自分のせいだ」などいくつかの特徴があります。また、頑張りすぎる脳にも問題があります。その起源は5億年前にさかのぼることができるところです。当時、まだ魚であった私たちの祖先に「危険感知センサー」(偏桃体)が進化したといわれています。これは天敵がやってきたり、環境が変わるなど身に危険が及びそうになった時に作動します。危険から逃げたり、敵と戦ったりするとストレスホルモン(副腎皮質ホルモン)が

分泌されます。そして交感神経が高まり、攻撃性、不安、焦燥などが増えます。しかし、このストレスホルモンには欠点があり、分泌が長時間続くと、この機能が働かなくなります。つまり、脳が全速力で走り続けて息切れした状態です。

実験的に、魚がずっと天敵に食べられることなく追われ続けるという特殊な生態環境を作ったところ、最初は必至に逃げ回っていたのに、やがてじっとして動かなくなるようす、つまり魚のうつ状態が確認されています。

これを人間に当てはめれば、疲れていても休めず、頑張り続けると、不安や焦燥が強まります。そして、その後力尽きて、うつ病になってしまふということとです。

当然上記の機能には個人差があります。それほどストレスが起らないのに、ストレス分泌が起こる等です。特にうつ病にかかりやすい人はこのストレスホルモン系に異常があ

ります。

従って、うつ病の治療は昨年も述べましたが、あせらず、十分な休養をとることが重要ですが、その予防には頑張りすぎないことです。すでに故人ですが、精神科医で作家である、「なだいなだ」はうつ病患者さんは「いい加減主義」で生活したらうつ病は予防できると述べていました。これを言い換えると「そのままでいい」と今の自分を認めることです。以上を考慮し環境調整を行い、頑張りすぎる人には、セーブする様周囲の人がサポートしていくことも大切な事であります。



「本物」への道程

藤井政雄記念病院
院長 池田 正仁

初春を壽ぎ謹んで新年のご挨拶を申し上げます。

皆様におかれましては、お健やかに荒玉の歳の初めをお迎えのことと、心よりお慶び申し上げます。

麗らかな初日の光を仰ぎつつ迎えた新しい年の始めの小察として、最近、社会問題化している「医師不足」の実態について、少しく私見を述べてみたいと思ひます。

医療崩壊という言葉が当たり前のようになり、もう10年以上になります。この最大の原因は、ご案内のとおり医師不足です。山陰の一地方にある当院においても、医師の確保には多くのエネルギーを割いています。医師不足には、医師の絶対数不足と医師の偏在(地域・診療科)があります。

誌面の都合上、ここでは医師の偏在は割愛し、医師の絶対数不足について話を進めてまいります。

日本の対人口医師数がOECD(経済協力開発機構)諸国平均より低いということをもって、医師

の絶対数不足が叫ばれることが多いようです。しかし、私が医学部学生だった時から40年前には、将来の医師過剰が問題視され、実際その後、当局は医学部定員減に舵を切りました。

然して、平成24年の統計を昭和50年と比較すると、医師数は約2・3倍になっていますが、人口は約1・1倍に止まっています。これを見ると、医師の絶対数不足が医療崩壊の主たる原因とは考えにくいのではないかと思われます。余りに専門分化・特化が進み、一人の医師の対応能力が小さくなってしまう構造的・機能的変化による医師数の相対的減少と考えられます。

医師数を単純に増やすことよりも、守備範囲の広い医師の養成が当に求められているのであります。

「人間この未知なるもの」の著者で、ノーベル賞受賞者でもある医学者アレキシス・カレルは、分析は総合してはじめて大きな力をもつ」と述べています。確かに、近代の医学・医療は分化に分化を重ねて進歩、発

展してきましたが、総合という面は重視されていなかったように感じられます。当院におきましては、予防医学から緩和医療まで、各種力テグリーの診療体制を整備することにより、高いレベルの医療サービスの提供を行ってきました。今後は、これらを総合・統合することにより、さらに質の高い全人的医療が可能な病院にしていきたいと考えております。

作家の開高健は文学賞(芥川賞)の選考に当たって次のように述べています。「作文はあるが作品がない」と。「本物」がないことを嘆いた彼一流の表現です。

私たちには、安全で質の高い医療を提供し続けるという使命があります。当院を利用される全ての方々から藤井政雄記念病院は「本物」だと言って頂けるよう、日々努力する決意であります。

本広報誌「仁厚会だより」により、私どもの「本物」追求への姿勢と病院の更なる発展への決意が皆様に伝わりますれば幸いです。

新年に際し、旧年中のご厚誼に深謝申し上げ、併せて倍旧のご支援、ご協力の程をお願い申し上げます。



小異にこだわることを 捨て大同につく。

米子東病院
院長 頼田 孝男



新しい年を迎え、謹んでお慶びを申し上げます。本年も皆様のご健康とご活躍をお祈りいたします。

昨年はいろいろと、環境問題、社会の安全上の問題、他国との安全・貿易の交渉の問題が話題となりました。とりわけ、隣国である中国や韓国との関係については大きく取り上げられました。本年は、これら隣国との関係が少しでも改善されるようお願いいたします。

ところで、昨年からNHKの連続テレビ小説「あさが来た」が放映されていますが、新聞のコラム記事によると、主人公のモデルになった広岡浅子は大同生命の創設に携わった人だそうです。明治の初め、生保の事業が盛んになり、その一つであった浄土真宗門徒のための真宗生命が経営に行き詰まり、門徒総代格だった加島屋に託されました。それをきっかけとして、加島屋に嫁いでいた広岡浅子が生保の事業を継承しました。本社を名古屋から京都に移し、朝日生命（現在の朝日生命とは別）と改称しましたが、単独での再建は難しかったそうです。そこで、浅子が護国生命（東京）、北海生命（小樽）と合併する英断をし

て1902年、大同生命として出発したということです。合併契約書では「東洋生命」であったものを、遠距離合併を成功させるため、「小異を残して大同につく（莊子）」の故事にちなんで敢えて改名したということです。

さて、鳥取県西部医療圏の人口は年々減少して、65歳以上人口は2015年から2020年までがピークで、その先は穏やかに減少していくと推計されています。財政などの問題もあり、医療介護の面では、急性期治療を終えたら、早めに在宅での治療・療養に移動するという流れがますます加速して行きます。私たちの病院は、急性期から移ってこられる方が在宅生活に戻っていかれる過程を支える、また、在宅では看取ってもらえない方を、支えて看取らせて頂くということを目標に掲げています。今後、適切な相互の連携が重要となるでしょう。皆さんの一人ひとりには個性があり、価値観に相違はあるかもしれませんが、そのような小異は残したままでは一向に構いません。共通の目標に向かい、大同となしたいものです。

仁厚会初

県外施設へ

人的応援派遣

派遣された職員

全国社会福祉法人経営者協議会からの人的応援

要請を受け、仁厚会は2名の職員を福島県の特別養護老人ホーム花ぶさ苑に派遣しました。東日本大震災の被災地に対しては仁厚会としてこれまで寄付金等の支援を行ってきましたが、この度のよくな人的支援は初めての取り組みでした。



松浦和哉
介護福祉士
(米子東病院)

【派遣期間】

平成27年10月12日～10月27日

被災地での応援は、期待や責任感と共に不安が入り混じっていました。しかし、実際に肌で感じたのは福島の人には誰もが温かく、前を向いて復興のために尽力されているということでした。短い期間ながら、私が復興の力に少しでもなれたのであれば幸いです。



永田美奈子
准看護師
(倉吉病院)

【派遣期間】

平成27年11月7日～11月22日

汚染された土壌がちらほら見られるような地域もあり、復興はなかなか進んでいないと実感しました。このような環境の中、花ぶさ苑の職員は少ない人数で多忙にしておられました。皆さんが利用者様に丁寧に接しておられるのがとても印象的でした。



2人の派遣を受け倉吉病院では12月21日に、米子東病院では12月24日に報告会が開催されました。汚染された土壌、派遣期間中にも発生した余震、宿泊先の仮設住宅など鳥取にはなかなか知ることのできない現在の被災地の状況や施設での具体的な活動の報告に多くを考えさせられました。また、中部地域で10月中旬より群発している地震を踏まえ、災害に対する備えの重要性を感じる職員も数多くみられました。

グループホーム

はまむら増床

12月1日よりサービス付き高齢者向け住宅2階の9床を認知症高齢者グループホームに転換しました。これにより既存のユニット9床との連携した運用が可能になるとともに、職員増員により夜間の支援体制も充実させることができます。

これまで以上にきめ細かい対応を行うことにより、ご利用者が安心・安全に過ごすことができるよう支援をしていきます。



研究発表会の開催

藤井政雄記念病院

院内研究発表会

11月24日・25日に第6回院内研究発表会が開催され、両日合わせ100名近い参加がありました。

他職種との連携を深める重要性や患者様へのより良い医療・ケアの提供とは何かを考える良い機会となりました。



倉吉病院

看護研究発表会

11月7日に日本精神科看護協会鳥取県支部看護研究発表会が開催されました。看護研究は自分たちの看護実践や看護技術の改善・向上のために行われます。研究で得られた学びを日々を活かし、さらに看護の質の向上を目指して行きたいと思えます。



仁厚会・敬仁会

合同研究発表会

11月14日に第16回仁厚会・敬仁会研究発表会が開催され、19施設が発表しました。

仁厚会からは6施設が日ごろの問題点・課題の改善活動やサービスの質向上に向けた取り組みなど多彩な角度から発表を行いました。





JIN'S キッチン Vol.2



中村真由美主任(左)と秦野佳代子調理員(右)



選択メニューに満足のご利用者様

「今後もご利用者が楽しんでみながら食事できるような様々な取り組みを考えていきますので、その時はまた誌面で紹介させていただきますね。」
 ル・サンテリオン北条に伺ってまた一つ厨房の取り組みを知ることができました。次回もお楽しみに！

「おかずをご利用者によって違いますが、『そうなんです。今日は牛肉のしぐれ煮とさんまの塩焼きからおかずを選ぶ』『選択メニュー』の日なんですよ。」

「これはご利用者も毎月楽しみですね。しかし、普段でもたくさんの方の食事を作るのに、メニューが増えるとても大変だと思うのですが...」

「ご利用者だけでなく、厨房の職員にとっても意味のある企画だったんですね。今日はお忙しいところありがとうございます。」

仁厚会の食を支える職員にスポットを当てるJIN'Sキッチン。2回目はル・サンテリオン北条の食事時間におじゃましました。食事中のテーブルを見てみると、どうも肉料理の方、魚料理の方とご利用者によって違っているようです。基本的に皆さんが同じメニューだと思っていたのですがどういうことなのでしょう...。

シリーズ 私の職場 Vol.12

実習の場としての

病院・施設

毎年、大学、短期大学、専門学校、高等学校、養成校から多くの学生さん生徒さんが病院・施設で実習を受けられます。職種やコースは多岐にわたり、看護師、介護福祉士、理学療法士、作業療法士、言語聴覚士、社会福祉士、精神保健福祉士、保育士等さまざまです。

病院・施設は実習の場として限られた資源であり、この資源を有効活用していただくことは一種の社会貢献と考えています。そして指導するスタッフにとっては、新たな気

づき、研さんの場にもなっています。この実習がきっかけとなり当法人の一스타ッフになれるケースも多々あり、新たな出会いの場でもあるといえます。

実習の受け入れ実績

	平成27年度	平成26年度
看護職	131	75
リハビリ職	22	27
介護職	29	32
社会福祉士	1	2
栄養士	2	1
保育士	2	0
事務(障がい者雇用含む)	1	3
合計	188	140



News Topic

実践報告 新聞社取材

あずさパン工房

11月14日にあずさパン工房の小林美穂サービスマネジメント責任者が鳥取就労支援ワークショップ2015でこれまでの県内外のコンテスト出場やアドバイザー派遣事業の活用、一般就労に向けた支援について発表を行いました。

また、11月20日には新日本海新聞社よりあずさパン工房で販売している「コロコロ鳥のHappy卵」の取材を受けました。記事は1月3日の日本海新聞に「思わず笑顔 福祉作業所の絶品スイーツ」の特集記事に掲載されました。



地域ボランティア交流会

倉吉病院

11月25日、倉吉病院精神科作業療法の一環で地域ボランティア交流会に参加しました。これは中部総合事務所福祉保健局主催の活動で、地域ボランティアの方との交流により、退院後の生活のスムーズな地域移行を目的としたものです。今回は当院の職員とチヂミを一緒に作り交流を深めました。



緩和ケア交流会

藤井政雄記念病院

10月29日、鳥取県立厚生病院緩和ケア委員会メンバーの方に参加いただき、交流会を開催しました。今回はスムーズな転院を行うため、連携シートについての意見交換をしました。病院、職種の垣根を超えた有意義な交流会となりました。



介護教室講師派遣

ガーデンハウスよどえ

米子市淀江町佐陀浜自治会からの依頼があり11月29日に野嶋佐津貴施設次長と洞嶺里奈主任、岩本光大リーダーが訪問介護について講演会を行いました。介護保険制度や訪問介護などのサービスの話に、地域の皆さまは熱心に耳を傾けておられました。



サークル活動報告

野球部HB

11月23日に敬仁会野球部との練習試合を行いました。引分けに終わりましたが、敬仁会が点を入ると仁厚会も取り返すというもつれた展開の試合となりました。冬期は活動機会が限られますが、春には今まで以上に精力的に活動する予定です。



健康
レシピ

栄養士が心と体に
おいしいレシピを紹介します!

トマトチーズフォンデュ



材料(2人分)
750kcal 塩分3g

- A・ピザ用チーズ…… 160g
- ・コーンスターチ 大さじ1
- 豚肉ロール
- ・豚ロース薄切り肉 …… 6枚
- ・アボカド …… 1/2個
- ・塩コショウ …… 各少々
- ・オリーブ油 …… 小さじ1/2
- エビ …… 4尾
- お好みの野菜 …… 適量
- 〔ブロッコリー、ジャガイモ
かぼちゃ、人参、ミニトマト
エリンギ等〕
- エリンギ …… 1本
- トマトピューレ …… 200g
- 白ワイン …… 大さじ1
- 粉チーズ …… 30g
- バケット(パン) …… 60g

【作り方】

下準備

- ・ピザ用チーズにコーンスターチをまぶしておく。(A)
- ・2cm角に切ったアボカドを、豚肉で巻き、塩・コショウで下味をつけておく(豚肉ロール)。
- ・エビや野菜は一口大に切り、茹でておく。(B)
- ①フライパンにオリーブオイルを熱し、豚肉ロールを巻き終わりを下にして、焼き色が付き、火が通るまで焼く。エリンギも焼いておく。(C)
- ②鍋にトマトピューレ・白ワインを入れ、煮立ったらAを加えてよくかき混ぜ溶かす。
- ③粉チーズを加えて、混ぜ溶かす。
- ④バケットや準備した食材(B)(C)をつけて食べる。

フォンデュとは、チーズを白ワインで煮込んだスィス地方の鍋料理。ひと手間加えて、イタリアンなフォンデュはいかがでしょう。ワインは牛乳がでも代用できるので、小さなお子様でも召し上がれます。お好みの野菜やパンをチーズに絡めて美味しく楽しく、家族で鍋を囲んでみてはいかがでしょうか?

藤井政雄記念病院 管理栄養士/金子 陽

あとがき

新しい年が始まるとともに仁厚会だよりもデザインを一新いたしました。以前と比べやわらかい印象となり、より皆様に親しんでいただける紙面になったのではないかと思っております。1月号は発行までのスケジュールが非常にタイトでしたが、たくさんの方のご協力により無事皆様にお届けすることができました。改めてお礼申し上げます。(宮)

Photo Report



よどえババール園

イオン日吉津のクリスマスイルミネーション点灯式に2歳児～5歳児が参加しました。



大和保育園

園内で栽培したサツマイモでスイートポテト作り。



社会医療法人 仁厚会

〒682-0023 鳥取県倉吉市山根43 TEL.0858-26-1012

病院機能評価認定

- 医療福祉センター倉吉病院 TEL.0858-26-1011
- 藤井政雄記念病院 TEL.0858-26-2111
- 米子東病院 TEL.0859-56-5232

ISO9001取得(JMAQA)

- ル・サンテリオン北条 TEL.0858-36-5220
- ル・サンテリオン鹿野 TEL.0857-84-3700
- ガーデンハウスはまむら TEL.0857-82-6500
- ル・サンテリオンよどえ TEL.0859-56-4073
- ガーデンハウスよどえ TEL.0859-56-5210
- 在宅医療福祉センター TEL.0858-26-2346
- よどえババール園 TEL.0859-56-5268
- 法人事業部セントラルキッチンアーク TEL.0858-26-1517

ISO9001取得(JSA)

- 藤井政雄記念病院 TEL.0858-26-2111

- 藤井政雄記念病院附属歯科クリニック TEL.0858-26-4276
- 大和保育園 TEL.0859-56-2203